親子を結ぶ、地域と結ぶ情報紙

こもんず

VOL.43

2020年８月５日発行

「つながりが創る豊かな家庭教育」をめざして、私たちの地域には子ども・子育て家庭をめぐるさまざまな関わり・取り組みがあります。しかしながら新型コロナウィルス感染の拡大は未だに終息を見ず、今までの私たちの「あたり前」が難しくなりました。このような時に自分自身や子ども、家族、仲間を守るためにできることは何でしょうか、どのように人のつながりを維持していけるのでしょうか。取り戻せそうな「あたり前」を少しずつ見つけながら、その上でのひと工夫、地域でも求められています。

こもんずの活動･･･みなさんの悩みや不安が小さくなることを願って様々な活動に取り組んでいます。

小学生の女の子が描いた「人と人が繋がる」かわいらしく温かなイラストをもとにさまざまなバリエーションのマークを作りました。

チームメンバー

子育てサポーター・民生児童委員
臨床心理士・保育士・PTA 関係者

設立の経緯･･･

近年、都市化・核家族化・少子化等の社会情勢により家庭教育が難しくなっています。家庭教育はこれからの未来を支える子供たちへの大切な贈り物です。

保護者の方々の頑張りに対して、地域社会や学校、行政、企業等も力を合わせ、子育て家庭の「支え」となり、社会全体で子育てや家庭教育を応援していくことが求められます。そこで、身近な地域ですべての親が家庭教育に関する学習や子育てに関する不安・悩みの相談ができる場として小中台中学校区では平成 20 年に家庭教育支援チーム「こもんず」が結成されました。

相談の場の提供

・こもんずカフェ(個別相談)

子育ての悩みや不安を個別に相談できます。月１回３組の方の相談を**予約制**でお受けしています。

先生と相談者だけで１時間じっくりお話ができます。

・こもんず広場

参加者が新しい関係を築きながら子育てに関して気軽におしゃべりする井戸端会議方式の集りです。話されたことは外に出さない、話は最後まで聴く…等の約束をして安心して参加できる場です。

※　開催予定ホームページに掲載

学習機会の提供

子育てに関して学び合う機会を提供しています。

・就学時健診時の講座

臨床心理士が、入学にあたって保護者の心構えや子供との接し方などを分かり易くお話しします。入学を控えた保護者の方への応援講座です。

・子育て親育ち講座

昨年度実施「ツボミスクール」の様子

他に「親子で取り組む感情コントロール」「性のお話し」「思春期男子編」「幼稚園向け講座」等実施しました。

地域のネットワークづくり

子育てに係る地域の人材などの情報収集・ネットワーク化など行っています。

・地域協力者会議

学校・PTA・青少年育成委員会・保育所・公民館・稲毛区健康課・幼稚園、社会福祉協議会等の代表に参加頂き、子どもや子育て家庭の状況や各団体の取り組みについて意見交換をします。

・地域家庭教育フォーラム

地域の様々な方に集まって頂き、家庭や地域の教育力を考えると共に「顔の見えるつながり」を作ります。

広報活動

広報紙・チラシ・ホームページで活動報告、活動予定等をお知らせします。

編集・発行　　家庭教育支援チーム「こもんず」

事務局　千葉市稲毛区小仲台９－30－１（園生小学校内）
FAX　043-284-4971「こもんず」宛て明記
E-mail　konakadaicommons@yahoo.co.jp
HP　http://konakadaicommons.jimdo.com/

QR コードからこもんずの HP をご覧ください

★こもんずからのお知らせ（行事参加の際は、検温と体調チェックの上マスク着用でお越しください）

「こもんず☆カフェ」（個別相談）

～ちょっとした悩みを、相談のプロが１人ずつ50分ゆっくりお聞きします。～

●日時 8/26(水)　9時～12時　　●相談員　美嶋 稲美先生（保育士）　　●会場 小中台公民館会議室

●申込み　E-mail：konakadaicommons@yahoo.co.jp　TEL：090-7707-2175　（菊池まり）

※お名前・ご連絡先・希望時間(スタート時間は、９時・10 時・11 時です)をお知らせ下さい。

「こもんず広場」(子育て井戸端会議)

今だからこそ!自分の抱えているモヤモヤを出してみませんか?「こもんず広場」は、気軽に他の参加者と子育てに関する情報交換や悩みを相談しあえる場です。ファシリテーターに**保育士の美嶋稲美先生**をお迎えし、お話を進めていきます。

☆テーマ　：休校・休園・自粛…過ごしてきて『今』思うこと

☆開催日時：9 月 2 日(水) 10：00　～　12：00

☆会場　：小中台公民館　多目的ホール(地下一階)

※事前の申込みは不要ですが、当日、会場の定員で締め切る場合がありますので、予め、ご了承ください。

※当日は受付にて「受付・健康チェック表」の記載をお願い致します。※今後の開催予定はホームページに掲載します。

※水分補給のための飲み物を各自お持ちください。

★稲毛保健福祉センター健康課　健康づくり班からのお知らせ

講演会「大人も知らないタバコの真実～こどもの未来のために知っておきたいこと～」

日頃から禁煙治療にあたる医師が新型タバコや受動喫煙についての正しい知識と最新情報をお伝えします。吸う人も吸わない人にも、子どもたちをタバコの害から守るために知ってほしい情報が満載です。

日時：１０月１２日（月）１０：００～１２：００

場所：稲毛保健福祉センター２階

定員：１５名

申込み：稲毛保健福祉センター健康課

☎０４３（２８４）６４９４（９月１日から受付開始）

加熱式タバコは
ニコチン依存症に
なりやすい？

加熱式タバコは
煙が出ないって
ホント？

※コロナウイルス感染症の影響で中止とする場合もあります。参加される際はマスク着用でお越しください。

☆子どもを守る禁煙外来治療費助成事業について☆

千葉市では、妊婦と同居または 15 歳以下の子どもと同居する市民の方に、禁煙外来治療費の 1/2 を助成しています。(受診前に申請が必要です。上限1万円まで)

こもんずメンバーのつぶやき

～子どもの話を聴くということ～

私が親になったら子どもの話を最後まで聴こうと強く思ったのには理由がある。幼い頃、親に叱られることはよくあったのだが、でも時には理由があって行動した結果、理不尽に叱られるなんてこともあった。その時、私は「だって…」と自分の言い分を話し始めるのだが、決まって「だってじゃないでしょ。」とピシャリ。私にはそれが受け止めてもらえなかったと強烈な不満として今も記憶に残っているのである。自分も大人となり親となってみて、子育ての大変さはよく分かる。特に話を聴くというのは簡単なようで難しい。しかし、話を聴くということは相手を肯定することであり、尊重するということである。幼い頃の私は最後まで話を聞いてほしかった。肯定してほしかったのである。そしてそれでもおかしいのなら叱ってほしかった。 子どもを叱るとき、いけないことをいけないと伝えること当たり前だが、子どもたちも人格をもったひとりの人間であることを忘れないようにしたい。